



ROBOMECH2017 in Fukushima 開催報告

実行委員長 高橋隆行 (福島大学)

ROBOMECH2017 in Fukushimaは「再生と飛躍を導くロボティクス・メカトロニクス」をテーマに、2017年5月10日から13日の4日間にわたり、ビッグパレットふくしま(福島県郡山市)を会場に開催されました。ポスター講演1,274件、登録参加者1,853名でした。

福島県浜通り地域の地域産業復興を目指した国家プロジェクトである「イノベーション・コースト構想」をアニメを通して支援されておられる株式会社福島ガイナックス代表取締役の浅尾芳宣氏による特別講演や、東日本大震災直後の様子や復興の道のりを紹介する写真パネルの展示、廃炉用遠隔操作機器(ロボット等)の開発・実証試験を行う施設である楡葉遠隔技術開発センターへのテクニカルツアー、ロボットで地域復興を目指す地元企業の展示コーナーなど、東日本大震災から6年余を経た福島の現状とこれまでの歩み、そして未来を感じていただける企画を行いました。また、休憩コーナーでは福島県菓子工業組合様のご協力をいただき、福島県の地元銘菓の提供も行いました。

初日の10日は、RSNP、RTミドルウェア、Choreonoidに関する3件の講習会、1件の地域交流ワークショップ、そして1件の宇宙探査に関するオープンフォーラムが開催され、多くの方々のご参加をいただきました。11日、12日の2日間は、メイン行事であるポスター発表が行われ、活発な討論が行われました。11日午後には、浅尾芳宣氏による「アニメでイノベーション・コースト構想を盛り上げる!」と題した特別公演が行われ、イノベーション・コーストを舞台にしたアニメ『レスキューアカデミア』の企画など、復興を支援するユニークな取り組みをご紹介いただきました。11日夜の懇親会では、会津地域を中心とした地酒や地域の食材などを味わっていただきつつ、交流を深めていただきました。12日の午後には、福島県立郡山北工業高等学校の先生と生徒さん10名が見学にいらっしやいました。最終日の13日はあいにくの雨となりましたが、楡葉遠隔技術開発センターと日大工学部のロハスの家へのテクニカルツアーが行われました。また、ImPACTプログラム合同ワークショップ、NEDO特別講座、廃炉創造ロボコン出場ロボットのデモも行われました。

ご協力をいただきました全てのみなさまに、深く御礼を申し上げます。

部門賞・部門一般表彰報告

部門賞

部門功績賞 : 木口量夫 (九大)
部門学術業績賞 : 大道武生 (名城大), 野波健蔵 (自律研)
部門技術業績賞 : 株式会社ワコーテック

部門一般表彰

ROBOMECH表彰 : 石田忠 (東工大), David McLaughlin (東工大), 小俣透 (東工大), 小島匠太郎 (東北大), 大野和則 (東北大), 鈴木高宏 (東北大), 田所諭 (東北大), 忽滑谷浩史 (東京大), 中澤敦士 (東京大), 南里耕大 (東京大), 田中真一 (東京大), 黒瀬優介 (東京大), 原田香奈子 (東京大), 杉田直彦 (東京大), 庄野直之 (東京大), 中富浩文 (東京大), 楚良繁雄 (東京警察病院), 森田明夫 (日本医科大), 渡辺英寿 (厚労省), 斉藤延人 (東京大), 光石衛 (東京大), 庄司観 (阪大), 秋山佳丈 (信州大), 鈴木将登 (農工大), 中村暢文 (農工大), 大野弘幸 (農工大), 森島圭祐 (阪大), 神永真帆 (東工大), 門之園哲哉 (東工大), 近藤科江 (東工大)

ベストプレゼンテーション表彰 : 飯塚浩二郎 (信州大), 増田峰知 (三重工研), 鈴木太郎 (早大), 大津恭平 (東京大), 杉浦広峻 (名古屋大)

部門貢献表彰 : 小俣透 (東工大), 田中真美 (東北大), 平田泰久 (東北大)

部門欧文誌表彰 : Daisuke Endo (Tohoku University), Keiji Nagatani (Tohoku University)

ロボティクス・メカトロニクス講演会2018 (ROBOMECH2018 in Kitakyushu) 開催案内

開催日 : 2018年6月2日(土)~5日(火)

会場 : 北九州国際コンベンションゾーン(福岡県北九州市)

URL : <http://robomech.org/2018/>

実行委員長 柴田智広 (九州工業大学)

当部門主催、ロボティクス・メカトロニクス講演会2018 in Kitakyushuは、2018年6月2日(土)~5日(火)に北九州国際コンベンションゾーンにて開催します。開催場所はJR小倉駅直結、徒歩5分のところで、新幹線、空路(福岡空港、北九州空港)でも大変便利です。

6月2日にはXプライズに関する講演や中高生向け企画などを、また6月3日はワークショップ・チュートリアル、産学や地域連携の企画の他、ロボティクス・メカトロニクス講演会の30周年記念特別行事の開催を予定しています。そして6月4日と5日には、ポスター講演と企業展示を西日本総合展示場新館(約5,300平米)で行う予定です。

開催地の北九州市は、政令指定都市で、いち早く公害を経験し、高度な環境・エネルギー関連技術を発達させました。また、いち早く高齢化を経験し(高齢化率は政令指定都市の中で最も高い)、ロボット産業が主要産業の一つであることから、早くから医療や介護用のロボットの開発や実証に力をいれてきました。2016年1月に国家戦略特区に指定され、介護ロボット等を活用した先進的介護の実証を推進しています。北九州市は「住みたい地方ランキング」で1位に選ばれており、今年新たに、講演会会場の横にサッカーやラグビー向けのスタジアムもオープンしてますます活気づいています。また、小倉駅から小倉城には徒歩で行くことも可能です(約15分)。講演会の30周年を盛大に祝う意味でも、ぜひ多数の皆様のご発表・ご参加をお待ちしております。

今後の行事の案内

- 電子工作教室 - 電子オルゴールを作ってみよう -
2017年10月15日(日)
福井大学文京キャンパス(福井県福井市)
- 九州地区競技会
「フューチャードリーム! ロボメカ・デザインコンペ2017」
2017年12月9日(土)
福岡市科学館(福岡市中央区)

部門HPに部門便りの詳細版を掲載しています。さらに詳しい情報を紹介しておりますので、是非ご覧ください。
<http://www.jsme.or.jp/rmd/Japanese/Newsletter/bumon17.pdf>

第95期ロボティクス・メカトロニクス部門

部門長 小俣透 (東工大)
副部門長 村上弘記 (IH1) 幹事 菅野貴皓 (医科歯科大)

編集 : ロボティクス・メカトロニクス部門 広報委員会

委員長 小川原光一 (和歌山大) 副委員長 辻田哲平 (防衛大)
委員 山口大介 (埼玉大) 幹事 程島竜一 (埼玉大)

部門HP : <http://www.jsme.or.jp/rmd/>

広報委員会E-mail : rmd@jsme.or.jp